

平成29年建国記念の日奉祝式典  
第37回 **建国を祝う集い**

遠く建国の古(いにしえ)を偲び、先人の偉業に心から感謝  
を捧げるとともに、国と郷土を愛する心を養う一助に  
なればと願い、本年も建国を祝う集いを開催いたします。

### 記念講演

# 日本を元気にする

## ～あきらめない心が未来を拓く

天皇陛下の執刀医  
**天野 篤先生**

順天堂大学医学部附属順天堂医院院長



### 国歌独唱

**小野田 薫さん**  
ソプラノ歌手

広島市出身・東京都在住。  
広島音楽高等学校声楽科を経て、  
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。



### オープニング

広島文教女子大学  
附属高等学校 和太鼓部  
「文教太鼓 葵」



写真提供:新潮社

**日時** 平成29年2月11日(土・祝)  
午後1時～3時50分(受付12時～)

**場所** **上野学園ホール** ※例年と会場が違いますので  
ご注意ください。  
広島市中区白島北町19-1(アストラムライン白島駅から徒歩2分)  
TEL.082-223-6367

### ボランティアスタッフ募集

受付や案内係など、当日運営のお手伝い  
をしていただける方はお気軽にお問合せ  
下さい。(高校生以上の方大歓迎)

TEL082-831-6205

後援/広島商工会議所・広島県商工会連合会・一般社団法人広島青年会議所



# あきらめない心

— 心臓外科医は命をつなぐ

(新潮文庫) より抜粋

心臓外科医になって間もない頃、恩師がこんなことを言ってくれた。

「鉄板のような確実な出来上がりの手術を一〇〇例続けると、一〇一例目にはどんな些細な異常でも見つけられるようになる」

一つのこと力を注ぎ、高い質を求めて毎日がんばっていると、別にそれを目指したわけでもないのに自然と身に付いてくる感覚というものがある。それは経験に裏打ちされた『勘』のようなもので、たとえば「あれ、これはいつもとちよつと違うぞ」というような違和感だったり、なんとなく感じ取る空気だったりする。その感覚が、危険を事前に察知させてくれたり、苦境を乗り切る力を与えてくれたり、また新たな発見へと導いてくれたりすることも多いのだ。

これは「一途一心」のご褒美だと、僕は思っている。

一途一心とは、「ひたむきに、ひたすらに」ということ。僕が大切にしている言葉だ。

一つのこと、ひたむきに取り組む。自分のことも、周りのことも気にならないくらい、無心になって向き合う。毎日、こつこつと努力を重ねる。そうやって一途に一心に自分の信じた道を突き進

んでいると、いつもの自分が持っている以上の力が湧いてきたり、普段ならとてもできないようなことができたりするところがある。ひたむきに努力した者だけが手に行えることができる『不思議な力』といったらいいだろうか。

実際、手術ではそんな不思議な力を実感したことが何度かある。患者さんの容体が急変してもう絶体絶命のピンチという中、最後にたった1つ残されたいたわずかな可能性に賭けてみたら、報われた。神様が奇跡を起してくれたとしか考えられないようなことが起こる。

(中略)

心臓外科医になって、三十年。この年になっても愚直なまでに手術と向き合う日々を送っている。「よく飽きないな」という感想をもたれる人もいるかもしれない。しかし、その繰り返しの中にこそ、驚きや発見や感動が詰まっている。一途に一心にここまでやってきたから、今、その実りをもらえるようになったのだと思っている。

天皇陛下の手術をさせていただいたことも、一途に一心にやってきた途上でたまたま与えられた貴重な機会だった。

(中略)

これからも一心臓外科医として、これまで以上にこの道を究めていきたいと思っている。もちろん、いつか外科医を辞める時は来る。年齢を考えれば、それはそんなに先のことではないだろう。しかし、だからこそ今はこの道にこだわる。外科医としてもっと自分を高めていきたい。剣先をさらに鋭く磨き上げる努力を続けたい。

そうやって努力していくことでしか、天皇陛下の執刀という得難い機会をいただいたお礼、恩返しはできないと思っている。

(中略)

心臓外科医として、やりたいこと、やるべきことはまだ山ほどある。

そして、これからも直球勝負でいく。絶対に手抜きはしない。妥協はしない。「このへんでもういいだろう」などと、自分で自分に制限をかけたりはしない。手術が朝の三時までかかっても、患者さんにとってよいことは全部やる。後悔はしたくない。仮に後悔するならば、やることは全部やってからにしたい。

医師は、僕にとって天職だ。その天職にこうやって邁進していけるのは、周りのみんなが支えてくれるお蔭なのだから、自分は本当に幸せ者だと感謝している。だからこそ、こう思う。

天職と思うならば、もっと努力しろ。も

がけ。立ち止まるな——。ゴールテープを切るまでは、この声が消えることはない。

## なぜ2月11日が建国記念の日? 建国の理想「八紘一宇」とは

2670年以上前に、初代神武天皇が橿原の地(今の奈良県)で即位されたと伝えられる日だからです。「国民の祝日に関する法律」には「建国をしのび、国を愛する心を養う」日と記されています。『日本書紀』に、神武天皇が橿原宮で即位されるにあたって、次のように詔されたがあります。

今、天皇として即位するにあたり、国民を平安にし、天照大御神が国をお授けになった徳に応え、皇孫(二二ギの尊)の正しい精神を普及させたい。そして天下がまるで一つの家のような温かい結びつきを実現させたい。

「天下がまるで一つの家のように(八紘一宇)」というのが、神武建国の理想なのです。史実であったかどうかの問題ではなく、古代の日本人が、国家や天皇についてこのような理想を持っていたということが重要なのです。

八紘一宇について、アメリカのエル大学のパール・S・ピース博士はその著『日本古典の精神』で、「人類は五千年の歴史と、2度の世界大戦の惨禍を経験した結果、『一つの世界』を理想とする国連憲章を結んだが、日本の建国者は、二千年も前の建国当初に、世界一家の思想を述べている。これは人類史上注目すべき発言であろう」と。